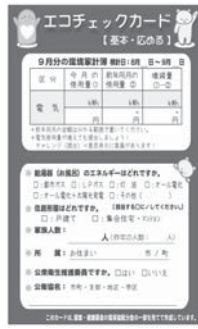


# 実践月間の記録を確認

## 1万人のエコチェック事業



8月から9月の検針日までの約1カ月間は、1万人のエコチェック事業の実践月間です。公衆衛生推進委員の皆さまは家族で省エネに取り組み、その成果を記録・確認しましょう。

電力会社から送付される「9月分の電気使用量のお知らせ」とエコチェックカードを準備してください。この電気使用量のお知らせ

には、検針期間に利用した電気使用量・前月の電気使用量・前年同月の電気使用量・電気料金などが表示されています。事前に配布しています。事前に配布していただきます。エコチェックカードに必要事項を書きつけてください。

電気料金しか分からない方は、電気料金から使用量を計算することができます。換算式は、電気料金(税込)÷27円=電気使用量kWhです。

深めるコースは、電気に加えて、ガス・灯油の消費量記録も行います。

記入したカードは、市町公衛協事務局へ提出してください。なお、カードの表面に料金受取人住所と印刷されている場合は郵便ポストへ投函が可能です。

提出されたカードは、第60回広島県公衆衛生大会にて抽選会を実施し、当選公衛協にはステキな景品をご用意しています。

昨年度は、豪雨災害の影響もあり、実践世帯は3千件を下回りましたが、今年度は目標の50%に向けて、皆さまのご報告をお待ちしています。

### 試料採取の意識向上へ

全国飲料水検査  
研究発表会  
委員長賞を受賞



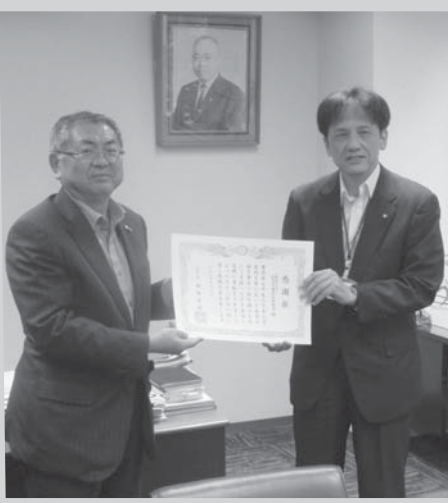
6月28日、東京都内で開催された一般社団法人全国給水衛生協会の総会において、昨年度11月に開催された全国飲料水検査研究発表会の委員長賞授与式が行なわれ、環境生活センター水道事業課の七真が委員長賞を受賞しました。

演題は「試料採取が水質検査結果に与える影響について」。

試料採取作業に対する意識向上の取り組みです。サンプリングから試験までの間で、検体の数値の変動を防ぐために試薬の添加が必要で、検査ごとに試薬が異なるため、決められた方法で正しく行なう精度管理が重要です。この際、間違った操作が分析結果にどのように影響するかを整理、検討しました。

得られた成果は水道事業体の方々にも情報提供し、県全体の意識向上につなげます。

### 呉市より感謝状を授与



昨年の7月豪雨災害に当協会では、遊休井戸の水質検査を無償で実施する広島県との協定に基づき、491件の水質検査を実施し、様々な復興に向けた取り組みを行ってまいりました。

このたびは、これらの活動に対して、呉市の

新原市長より感謝状をいただき、7月11日に呉市保健所の水野副所長が来館され、佐藤理事長へ手交いただきました。

これからも、当協会は、広島県民の健康づくりと住みよい環境づくりに取り組んでまいります。

## 3カ月の成果を使用量で確認

ライフスタイル別の省エネアドバイスに活用を  
～光熱費節約大作戦!～

### 省エネ活動の優良事例

**LEDへの交換** 12%削減  
**炊飯ジャーの保温をやめる**  
月平均 304kWh(9月～11月)  
大崎上島町/戸建/太陽光/3人家族

**冷蔵庫の買換え** 14%削減  
**冷房設定28度**  
月平均 113kWh(5月～7月)  
府中町/戸建/都市ガス/3人家族

**冷蔵庫に詰め込まない** 8%削減  
月平均 749kWh(4月～6月)  
広島市/集合住宅/オール電化/4人家族

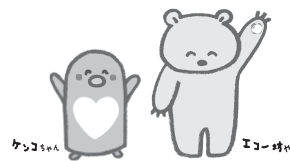
地球温暖化対策地域協議会、公衆衛生推進協議会の皆さんの協力で、平成29年度は300世帯から1千585世帯、平成30年度は660世帯から1千706世帯の情報が集まりました。照明を

LEDに交換して電気使用量を12%削減、冷蔵庫を買換えて14%削減といった事例が寄せられています。また、応募20件につき1件が当選する抽選会を5回

実施し、当選者62人にエコタップを進呈しました。

「光熱費節約大作戦!」は、県民が取り組む省エネ活動の実績を電気使用量で確かめて優良事例を紹介するとともに、ライフスタイル別の平均値を割り出して省エネアドバイスを活用しようという取り組みです。合理的で財布にやさしい省エネ活動に参加し、その成果を記録して応募する、この事業にご協力をお願いします。

## 2019年度 地区衛生組織活動資金募集



通称 『環境・健康募金』

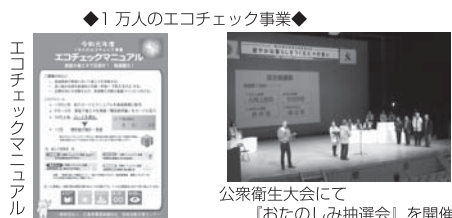
環境・健康募金は、昭和35(1960)年から実施し、2019年度で60回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

環境・健康募金  
総額(円)  
**29,371,517円**

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
府中町	1,296,950	77.7
海田町	1,800,000	74.5
熊野町	1,426,200	98.8
坂町	0	0.0
江田島市	1,765,650	96.5
竹原市	0	0.0
大崎上島町	0	0.0
大竹市	1,840,340	72.9
廿日市市	2,560,326	75.4
廿日市市大野	2,112,278	84.3
廿日市市佐伯	0	0.0
廿日市市吉和	47,800	84.3
廿日市市宮島	189,600	98.2
安芸太田町	0	0.0

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
北広島町	749,400	69.1
安芸高田市	558,300	27.1
東広島市	4,215,317	98.8
三原市	1,200,440	71.4
世羅町	455,900	53.0
尾道市	3,455,700	77.6
福山市	4,081,620	47.0
府中市	0	0.0
神石高原町	0	0.0
三次市	1,500,000	62.8
庄原市	43,700	1.8
呉市	0	0.0
その他	71,996	105.2
合計	29,371,517	51.9

- 環境協に配分された募金は、以下のような事業に活用しています。
- 公衆衛生推進手帖の作成・配布
  - 公衆衛生推進委員養成に関わる各種研修の開催(夏季大学など)
  - 全県共通事業重点メニュー(1万人のエコチェック事業、公衛協発ウォーキング事業の提供グッズの作成など)
  - 広島県公衆衛生大会の開催
  - 学習教材貸出事業



※この表は、2019年7月末までに、市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています。